



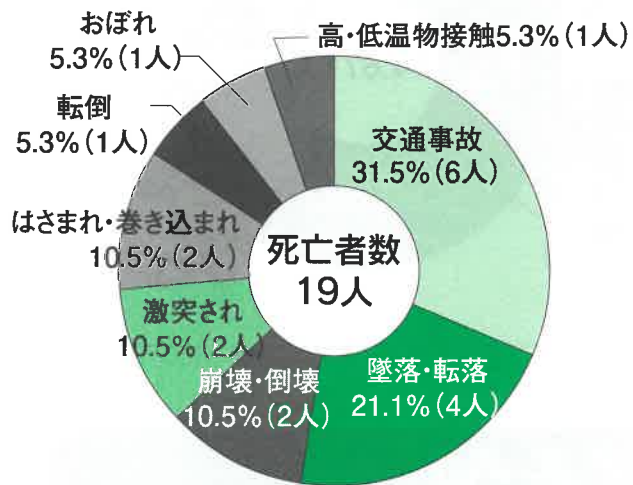
第92回 全国安全週間

◆本週間／7月1日から7月7日 ◆準備期間／6月1日から6月30日

令和元年度
スローガン

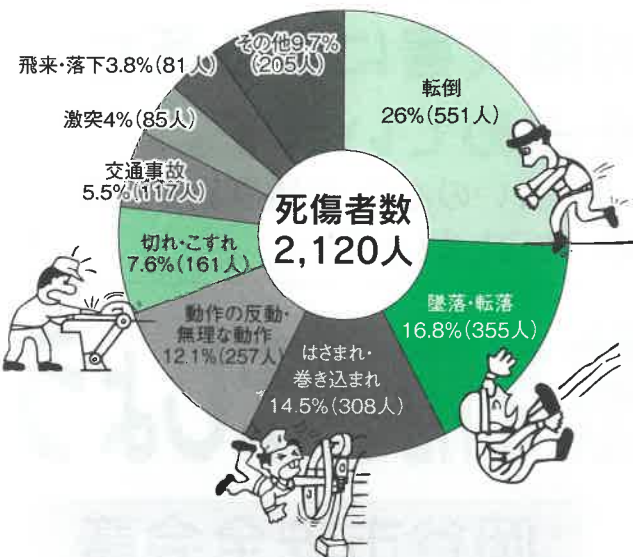
新たな時代に PDCA みんなで築こう ゼロ災職場

平成30年 事故の型別 死亡災害発生状況



(長野県内)

平成30年 事故の型別 労働災害発生状況 (休業4日以上)



(長野県内)

労働災害による被災者数(休業4日以上)は1日約5.8人(県内)

長野県内の平成30年における休業4日以上死傷者数は2,120人で、1日当たりにすると約5.8人が被災しています。

岡谷労働基準監督署管内における平成30年の死傷者数は173人で前年と比べ6人増加し、岡谷市内においても43人と前年と比べ3人の増加となりました。

死亡者数は年間19人(県内)

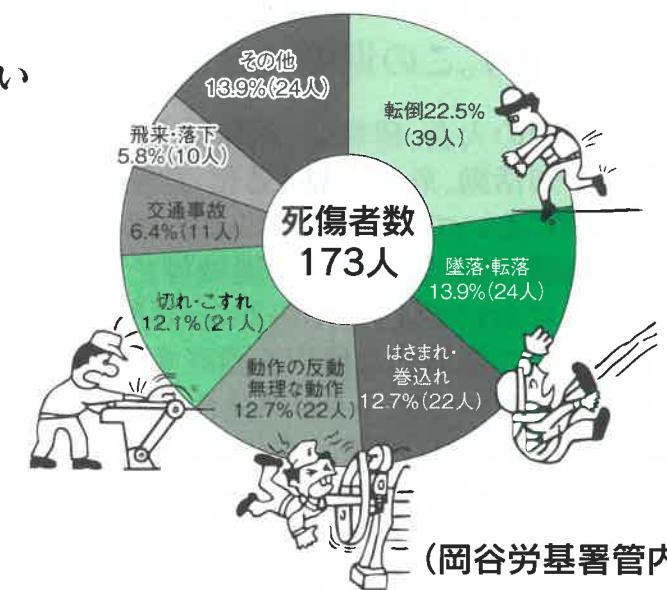
長野県内の平成30年における死亡者数は、前年に比べ2人減少し19人となりました。

事故の型別でみると「交通事故」が6人と最も多く、次いで「墜落・転落」が4人、「崩壊・倒壊」「激突され」「はさまれ・巻き込まれ」がそれぞれ2人、「転倒」「おぼれ」「高・低温物接触」がそれぞれ1人となっています。

業種別では第三次産業を主体とする「その他の業種」が7人と最も多く発生しており、次いで「製造業」「運輸業」がそれぞれ4人、「建設業」が3人、「林業」が1人となりました。

岡谷労働基準監督署管内の死亡者数は3人となりましたが、岡谷市内では、死亡災害は発生していません。

平成30年 事故の型別 労働災害発生状況 (休業4日以上)



(岡谷労基署管内)

岡谷労働基準監督署管内における労働災害の推移 (休業4日以上)



岡谷市安全会議

生活の
すべてに
安全を

安全について皆さんで考えましょう

7月1日は
国民安全の日です

第13次労働災害防止計画に基づき、全国安全週間(7/1~7/7)及び
準備期間(6/1~6/30)中に、より積極的な安全管理活動を実施しよう!

職場
安全

主たる業種の重点災害をなくそう!

製造業の機械などへの「はさまれ・巻き込まれ」災害
建設業の高所からの「墜落・転落」災害
運送業の荷役作業中の荷台等からの「墜落・転落」災害
第三次産業の「転倒」災害と「無理な動作」(腰痛)災害

をなくそう!

毎年7月1日から7月7日までは全国安全週間、6月1日から6月30日まではその準備期間と
なっています。この期間には、各企業のトップが率先し、集中的に、次の事項に取り組みましょう!

- 1 安全週間の大会、研修会、職場安全パトロールを通じ、安全指導を徹底する。
- 2 危険予知活動、危険の見える化、危険再認識教育等を通じた作業者の危険感受性を高める安全教育を徹底する。
- 3 製造業においては、機械等による「はさまれ・巻き込まれ」災害、「切れ・こすれ」災害防止対策(機械稼働部と作業者の隔離措置、清掃時等の機械停止)を徹底する。
- 4 建設業においては、足場等からの「墜落・転落」災害防止対策として、手すり先行工法の積極的な採用、ハーネス型安全帯の積極的な使用を徹底する。
- 5 運送業においては、トラック荷台、積卸し場所、倉庫等での荷役作業での「墜落・転落」災害防止対策を徹底する。
- 6 第三次産業においては、4S(整理、整頓、清掃、清潔)の徹底による転倒災害の防止対策と腰痛予防対策を徹底する。
- 7 すべての職場において、熱中症予防対策に取り組む。特に7月と8月は「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」の重点取組期間であること。



家内
安全

家庭内の不慮の事故をなくそう!

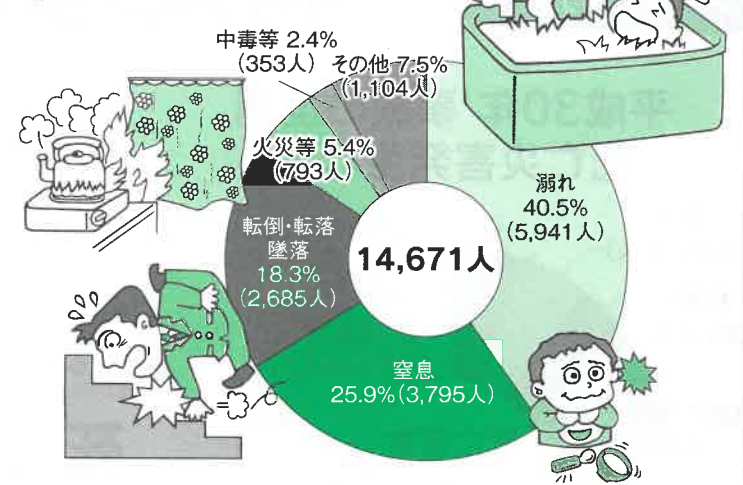
家庭内の不慮の事故死は1日40人!(全国)

平成29年に発生した「不慮の事故死」は40,329人ですが、このうち14,671人が家庭内において亡くなっており、1日当たりになると約40人になります。

事故の発生様様をみますと、「溺死」「窒息」「転倒・転落・墜落」「火災等」の順となっています。

(資料/人口動態調査)

●家庭内事故死の割合



交通
安全

交通事故をなくそう!

交通事故死は、1日10人!(全国)

全国で平成30年に交通事故で亡くなった人は3,532人(長野県内は66人)で、1日当たりになると約10人になります。

長野県内では、交通労働災害による死亡者数が全体の31.6%を占めています。

時間にゆとりを持って、思いやりと譲り合いの心で、交通事故を起こさないよう、事故にあわないよう、お互い注意しましょう!

危険を予測し、事故を防ぎましょう

岡谷市安全会議